

常識を変えた木もち e-デッキ

ウッドデッキは

屋外につくるから
長持ちさせるためには
ま～ず、施工が

大事だからね！

プロの工夫は
さすがに
すごい！

いいかに 通風と 水はけを とるか！

常識を超えた

施工ポイント集

こちらから

なつ！なるほど
これなら
床下も乾くぞ

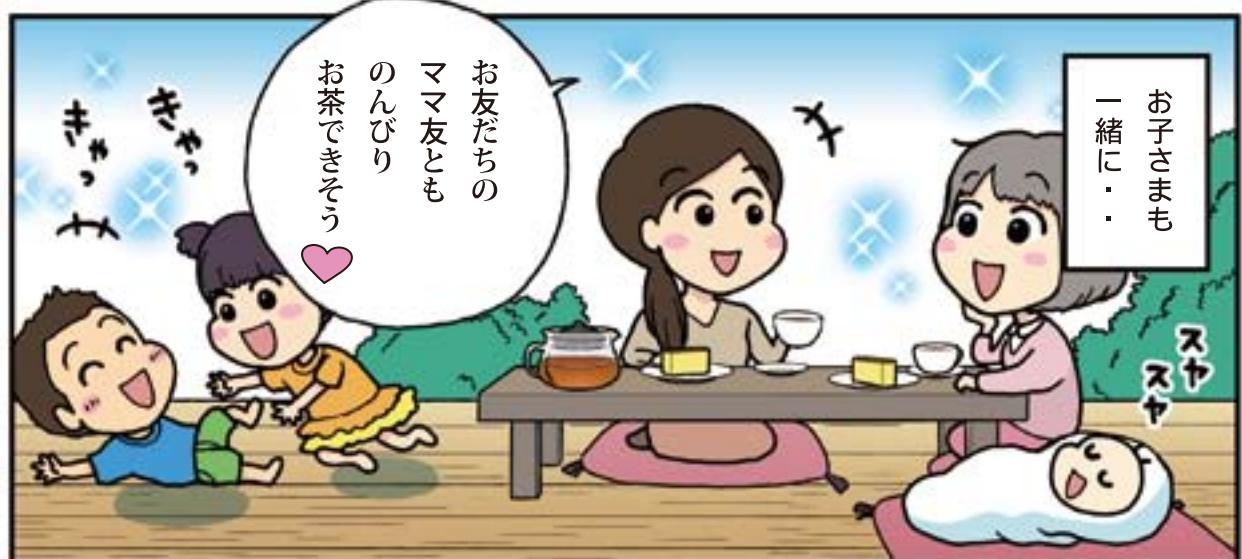


読まないと
ワイが
増殖するでえー

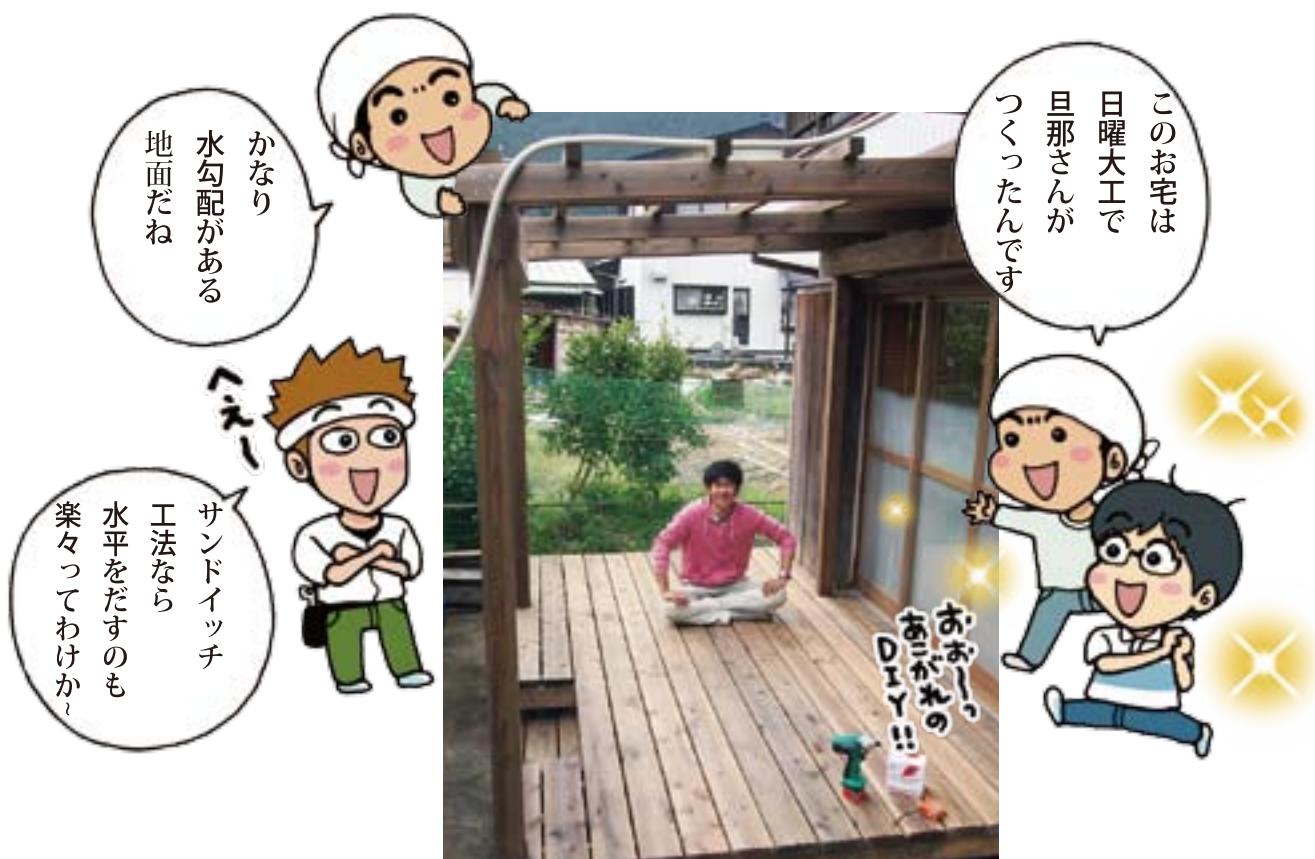












F邸（サンドイッチ工法）間口3,600mm×奥行2,200mm 約8m²



道瀬食堂様（サンドイッチ工法）間口11,000mm×奥行4,000mm 44m²



どの工法でつくるかをまず考えましょう。



4つのチェックポイント！

① 陽当たり

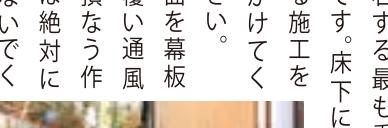
陽当たりが悪く、床板などの表面がいつまでも乾かないと腐食しやすくなります。



② 風通し

風通しは、デツキの耐久性を左右する最も重要なポイントです。床下に風が入って抜ける施工を中心かけてください。

側面を幕板で覆い通風を損なう作りは絶対にしないでく

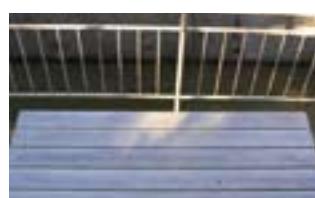






間口3,600mm×奥行2,200mm 約8m²の床下

木もちは「デッキ」がお勧めするサンディッシュ工法では、地面から床上面までの高さ400ミリ以上が必要です。それ以下の場合は、束や鋼製束による大引パッキン工法を選択してください。



④湿度のあるなし

河川や水路などがすぐそばにある環境では、湿気の影響で腐りやすくなる場合があります。

床板のスノコ仕様や鋼製束、根太を栗材にするなどの工夫をしてください。

③床下の高さ

木もちは「デッキ」がお勧めするサンディッシュ工法では、地面から床上面までの高さ400ミリ以上が必要です。それ以下の場合は、束や鋼製束による大引パッキン工法を選択してください。



床下の工法が、腕のみせどころです。

デッキ材の接面を極力小さくつくる

サンドイツチ工法



はしごして通風、お掃除ラクラク タイプです スノコ仕様

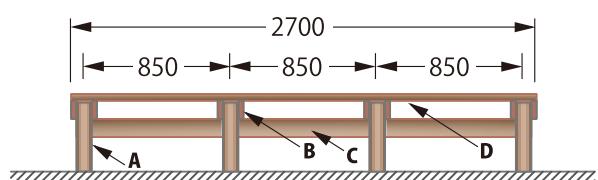
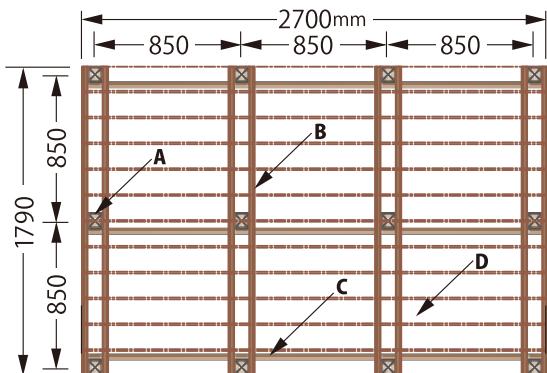


■サンドイッチ工法例

※地面からデッキ床上面まで 450mm の場合

- A = 束 400mm×12 本
木拾い = 3m×90×90mm (2 本)
- B = 根太 1790mm×8 本
木拾い = 4m×105×30mm (4 本)
- C = 根太受け 2700mm×3 本
木拾い = 3m×105×30mm (3 本)
- D = 床板 2700mm×12 本
木拾い = 3m×140×40mm (12 本)

横からのぞいた床下の仕組み



小さくつくるかが長持ちのポイントです。

フェンスや階段も

サンドイッチ工法

地面からそのまま支柱を立ち上げることができます。



縦格子を支える枠材やクロスフェンス材が、床板や笠木に接触しない施工法です。支柱と笠木の接面は、L字型金具でスキ間をとり、支柱にはぼぞ加工でなくビス留めして、雨水がしみこまないようにしてください。

笠木と支柱を接触させないで金具で浮かせ、通風と水はけを確保しています。

いかに材と材の接面を

すき間を
あけて
つくってね



階段部も束を根太で挟んで階段板を支えるサンドイッチ工法がおすすめです。



床下の高さが取れない時などは、この工法でつくります。

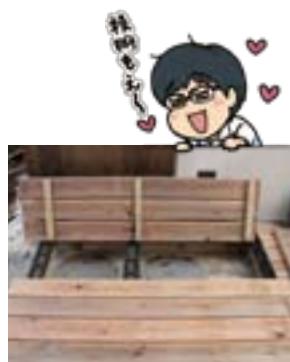
デッキ材の接面にパッキンをはさみます
大引きパッキン工法



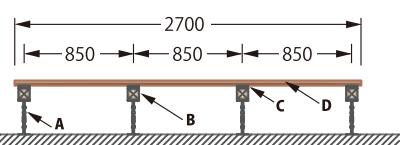
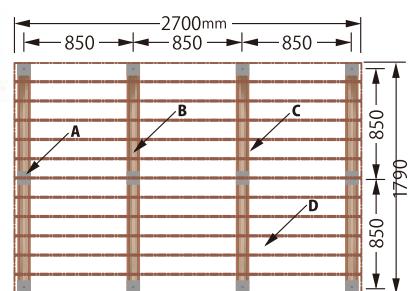
束と束のピッチは 900mm
(デッキ板厚 40mm の場合)



鋼製束も使えます



スノコ仕様で通風改良



■大引きパッキン工法例

※地面からデッキ床上面まで 400mm の場合

A = 鋼製束 250mm×12 本

B = 大引き 1790mm×4 本 木拾い = 4m×90×90mm (2 本)

C = 樹脂製パッキン 1790mm×4 本 910×105×20mm 厚 (8 ケ)

D = 床板 2700mm×12 本 木拾い = 3m×140×40mm (12 本)

バルコニーにも木もちe-デッキつくれます。

傾斜にもちよつとした空間にも対応できます

バルコニー対応アジャスター仕様



●バルコニーは高さがとれないため小川社では根太は栗材を推奨しています。

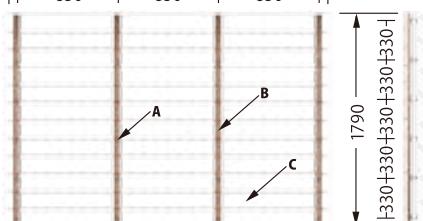
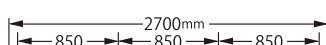
●根太と根太のピッチは最大で900 mmにしてください。それ以上だと傷みます。

●時々、立てかけて干してください。



●アジャスターのピッチは最大で350mmにしてください。それ以上だと傷みます。

●ネジで水平をとります。

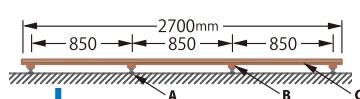


■バルコニー対応アジャスター仕様例

A = 調整アジャスター 50~100mm (28ヶ)

B = 根太 (堅木) 1790mm×4本 木拾い=1.8m×55×28mm (4本)

C = 床板 2700mm×12本 木拾い=3m×140×40mm (12本)



いろいろなところで起こった **NG** の赤裸々な報告です



防腐剤をつかつて
ないからね！
ちょっとした
注意が必要で、

板と板が
くつつく
傷みやすく
なるのよね

×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×NG×



床下を幕板で覆つて腐つた例です。



床下を幕板で覆う施工は絶対におやめください。木口を隠す幕板もおすすめしませんが、付けられる場合は金物などを挟み、通風と水はけを確保してください。

**大引き工法は、床板と大引きの接地面が
大きく湿気が溜まりやすくなります。**

床板と大引きの間に樹脂製パッキンを挟むことで、通気を確保し、湿気を防ぐことができます。大引き工法には、必ず樹脂製パッキンを挟んでください。



ダメダメ

いろいろなところで起こった **NG** の赤裸々な報告です



ちょっととした
すき間が大事！
気をつけてね！



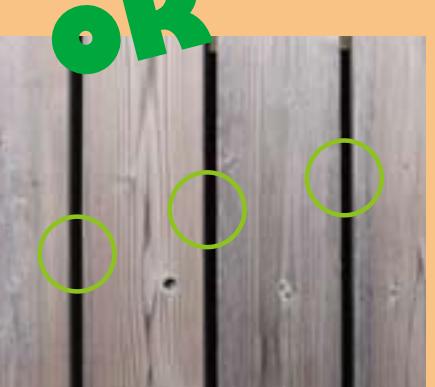
NG

継ぎ手からの傷みが…

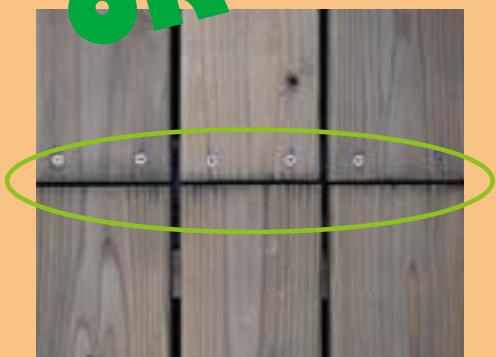


NG

目すかしをあけなかつたら…



OK



OK

床板のすき間と同じように、床板を
縦に継ぐ場合も、すき間を5ミリ程
度とつてください。



床板のすき間が十分でないと、雨水
が抜けにくく、湿気や土埃が溜まり
やすくなります。床板間10ミリ程度
の目すかしをおすすめします。



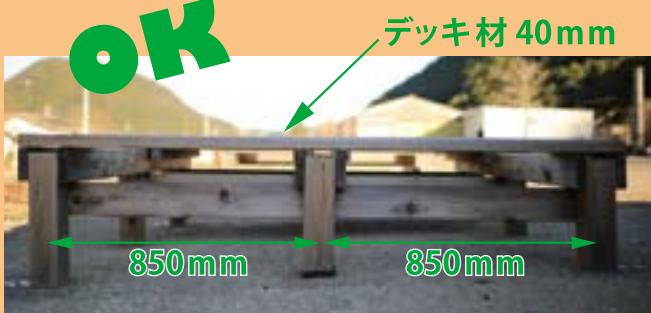
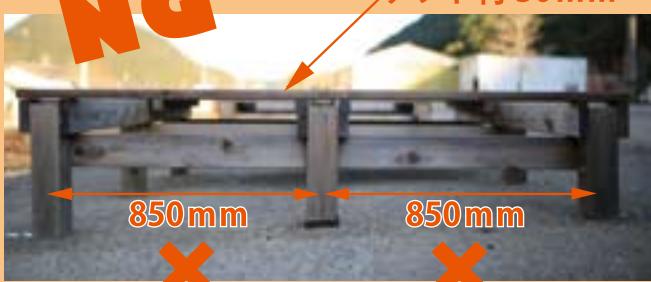
デツキ材のたわみが寿命を縮める…

■ オーバーハングは傷みを早めます

床板が根太や大引きから飛び出したオーバーハングは、

床板を傷める原因になりますので
ご注意ください。

■ピッチ(束と束の)間を
広げすぎるのも傷みを早めます



根太のピッチは、床板の厚み40ミリで最大900ミリです。(床板30ミリでは最大600ミリ)これ以上拡張すると、床板にたわみがでて耐久性に影響します。また床上に重いテーブルを置いたり、多人数の過重がかかることで、シヨップなどでは、ピット幅を狭く調整してください。



きもちイイを長持ちさせのお手入れを！



これだけはやってね！



月に一度のお掃除



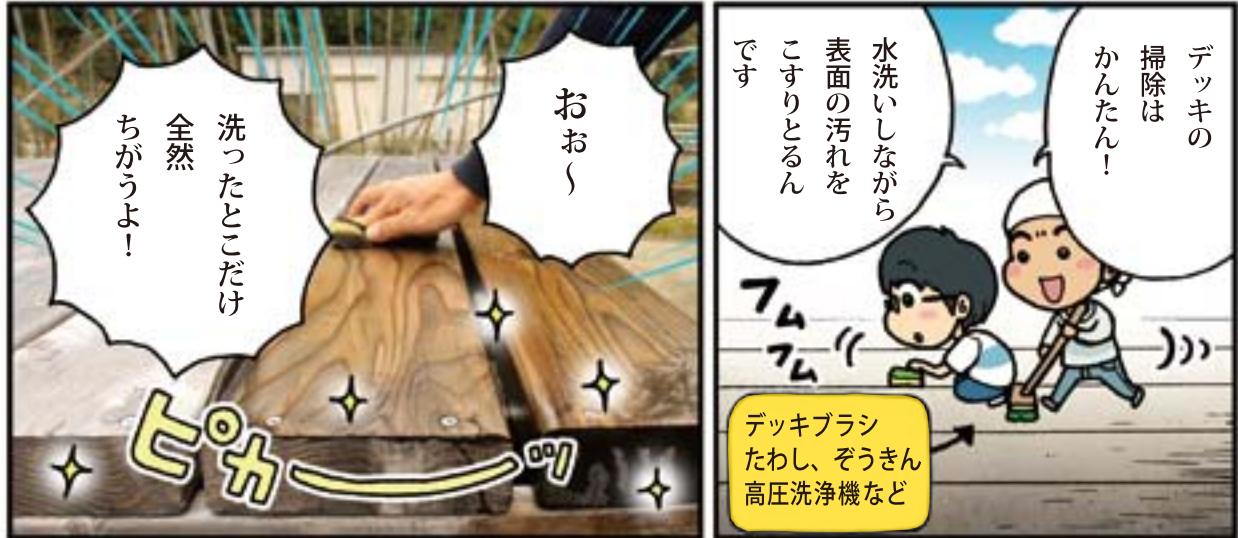
ペットの毛など



落葉



・植木鉢など直接置かない
・デッキに流れた土は洗い流す



デッキブラシ
たわし、ぞうきん
高圧洗浄機など



デッキ完成日

年 月 日

テーブル
イスなどは
ときどき
移動してね

無垢材です
きもちイイです
ほつとけば
傷みますよ



お掃除・お手入れカレンダー

完成日から1ヶ月後、第1回目のお掃除日をお書き込みの上、お掃除してください。

第2回目です。※汚れ方がひどい場合は、その都度掃除してください。

/ /	/ /	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

必ず読んで
くださいね
それも
施工の詳細
納品時・製品に
付けています。
施工仕様書を

小川耕太郎∞百合子社のCSR活動

近年、化学の発達により木の腐りを遅らせる木材がでてきました。それらは自然への循環ができず、木本来とは違ってしまいました。木もち e—デッキは、木の本来の性質をそのまま生かした天然保護塗料を塗布することで土壤や水質を汚染することなくデッキを腐りにくくしています。最終的に木もち e—デッキが不要となれば、腐朽菌がデッキを分解し、土へ還り、土壤の栄養分となり自然界に還元されます。それ故に、木もち e—デッキを長もちさせるには、施工業者様による施工と、施主様によるお手入れのご協力が必要となります。今回の冊子では、現場で頑張られている施工業者様にとって、短時間で施工ポイントをご理解いただけるように、わかりやすい表現を心がけました。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。 小川百合子



【製造・販売元】(有)小川耕太郎∞百合子社

TEL.0597-27-3361 FAX.0597-27-3390 e-mail mitsurou@ztv.ne.jp

〒519-3921 三重県尾鷲市賀田町105

商品詳細につきましては、HP(スマートフォン対応)、カタログをご覧ください。 <http://www.mitsurouwax.com>